



宿泊・旅行業・運輸・自治体 (観光全般)

新年号第2部

本社調査

旅館経営、一段と好転

観光立国 変化への挑戦

この調査は国観連の会員旅館1306軒を対象として往復アンケートはぎを2007年11月に郵送し、①07年の業績見込み②経営上の課題③客室販売での旅行会社・ネットエージェント④直販の各比率⑤旅行会社の手数料率⑥その旅行会社の手数料率が高いか⑦適正な手数料率⑧大手旅行会社への要望⑨日観連・国観連の合併の是非⑩ファンド(外

調査の概要

資)は温泉地の伝統文化・情緒を壊すと思うか⑩インバウンドはこの国・地域から求めるか(中国・台湾・韓国・その他)などについて聞いた。回答を寄せたのは212軒。客室規模別の内訳は10~30室が40軒、31~50室が49軒、「51~75室」が36軒、「76~100室」が39軒、「101室以上」が48軒となっている。

ここ5年間の業績

	伸びる	やや伸びる	横ばい	落ち込み	赤字
07年	10.4	28.3	41.0	17.9	2.4
06年	7.6	27.1	42.2	22.2	0.9
05年	7.7	18.7	43.4	27.5	2.7
04年	5.8	19.8	45.9	26.1	2.4
03年	11.0	26.6	43.0	13.3	1.1

07年の業績を横ばいで、両回答を合わせると回答した旅館は41.0%で、昨年の42.2%との差は1.2%減と大きな変わりはない。一方「落ち込み」の回答は昨年の22.2%から4.3%減って17.9%と改善した。ただ、「赤字」が2.4%あり、昨年の0.9%から1.5%増えているのが気になる点である。

07年間の業績を見ていくと、これまで最も良かった03年は伸びるの回答が11.0%、やや伸びるの回答は26.6%と

07年の業績見込みと課題

旅館の経営状況、一段と好転。観光経済新聞社は、今年も国際観光旅館連盟の会員旅館(1306軒)を対象にアンケート調査を実施し、その結果をこのほどまとめた。07年の業績見込みについて聞いたところ、「伸びる」と回答した旅館は10.4%、「やや伸びる」は28.3%で、合計した「伸びる組」は前年より4.0%増えて38.7%となった。伸び率は昨年の8.3%増に劣るものの、3年連続の増加であり、03年からの5年間で最も良好な数字だ。

業績伸びる「が前年比増」

課題は「単価アップ」の声多く

客室販売の比率

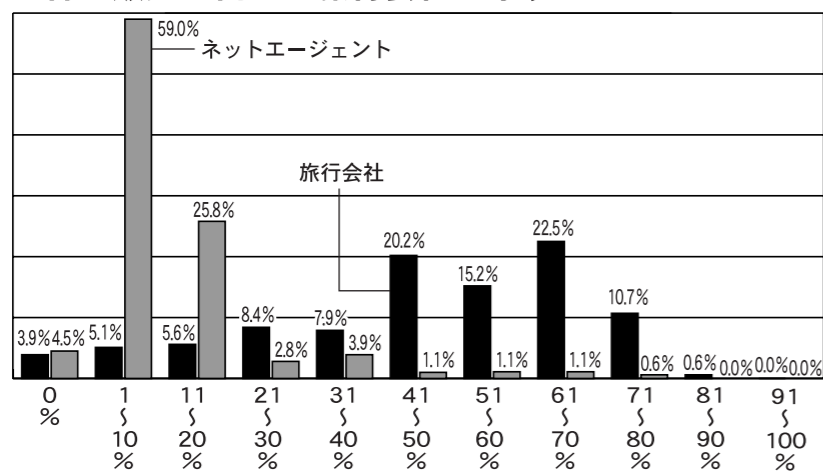
客室販売の方法である「旅行会社」「ネットエージェント」「直販」は、どのよう構成比率になっているのかを聞いた。ここでは旅行会社とネットエージェントの比率を紹介する。2つを相関的にとらえて集計すると複雑になるので、それぞれ単独で見ている。旅行会社から送客比率は「61~70%」が22.5%と最も多かった。次に「20~29%」が41.5%、「30~39%」が15.2%、「40~49%」が10.7%、「50%以上」が6.1%という結果。つまり、旅館・ホテルは

旅行会社の送客 41~70%が平均

ネットエージェントは10%

旅行会社との一般的な付き合いは41~70%の範囲といことが言える。「71~80%」は10.7%、「81~90%」は10.7%、「91%以上」は1.1%。一方、近年、台頭の新しいネットエージェントはどうだろうか。最も多いのは「1~10%」で59.0%と全体の6割を

客室販売に占める旅行会社とネットエージェント

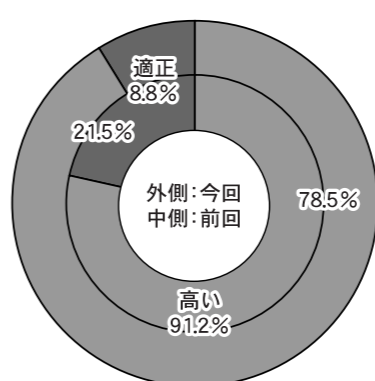


占めている。2番目は11~20%で25.8%。3番目は「31~40%」が9.9%。インターネットによる宿泊販売の市場は今も高い成長性であり、旅行会社・ホテルで10%前後のネットエージェントの比率も今後さらに大きくなると予測できる。

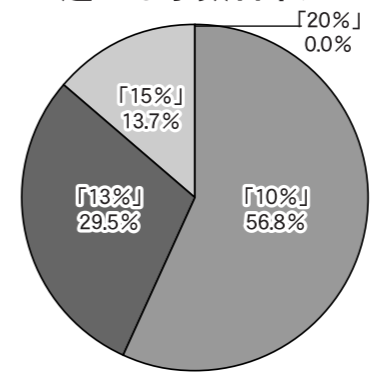
手数料、9割が高い

「10%に引き下げを」の要望

旅行会社の手数料は高いか安い



適正な手数料率は



旅行会社については、以下、14.1%だった17%、12.4%、13.8%、14.1%、10.7%、0.5%、3.2%、0.5%、0.6%、1.1%、0.0%という順だった。上の範囲に多く分布しており、基本手数料15%に企画商という意見で、「適正」

旅行会社について

品参画料やオーバーライドコミッション(OC)などが加わる構造が見て取れる。旅館・ホテルはその手数料率をどう判断しているのだろうか。91.2%と圧倒的多数が「高い」という意見で、「適正」

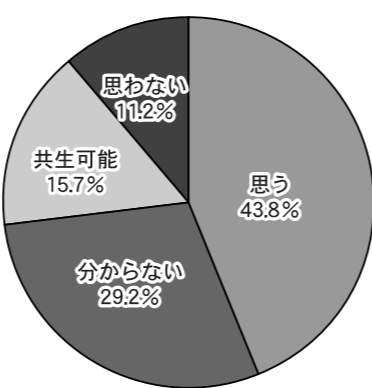
旅行会社より手数料の低いネットエージェントが登場し、勢力を伸ばしている。これに危機感を持つ大手旅行会社は、旅館とのパートナー関係を強化する必要性を感じ取り、手数料率を見直すなどの動きが出てきている。08年には今回適正とする声が多かった「手数料率10%」を宣言する旅行会社が現れるかもしれない。

ファンドへの意識

「文化を壊す」と懸念

ファンド(外資)は温泉地の伝統文化や情緒を壊すかどうかは意見が分かれるところ。この質問

ファンドは温泉地文化を壊すと思うか



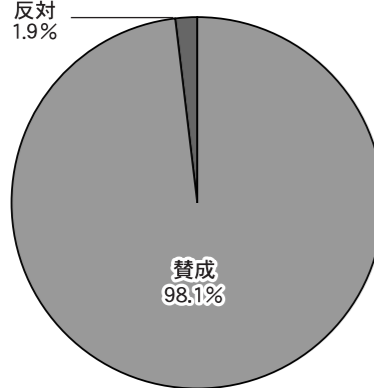
インバウンド トップは台湾

インバウンドはこの国・地域から求めるか。中国、台湾、韓国、その他、4項目の選択式(複数回答可)で聞いた。トップは台湾で34.8%を占めている。中国が25.2%、韓国が22.4%だった。台湾、米国、中国という06年の訪日旅客数の順位と一致しない結果だった。

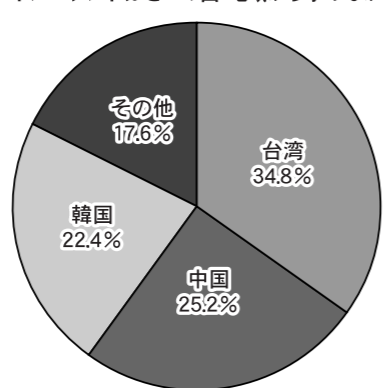
賛成が大多数

国観連・日観連の合併についてどう思うか。98%賛成の意見を示した。も、双方の間に生じている溝をいかに埋めるかが両連盟の合併は期限を

日観連との合併

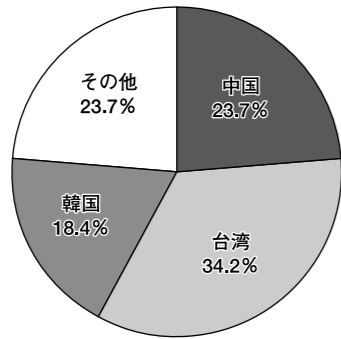


インバウンドはどこ国・地域から求めるか

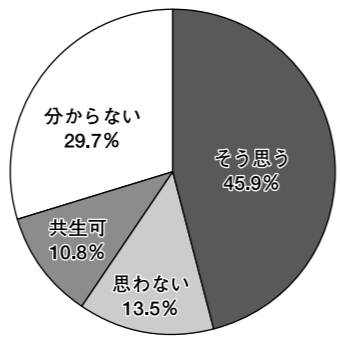


観光立国 変化への挑戦

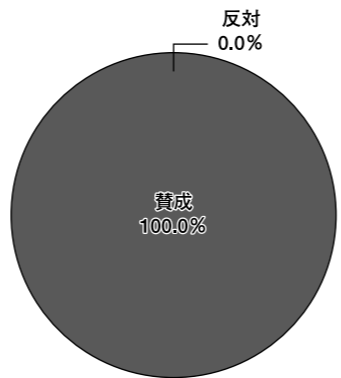
インバウンドはどこから求めるか



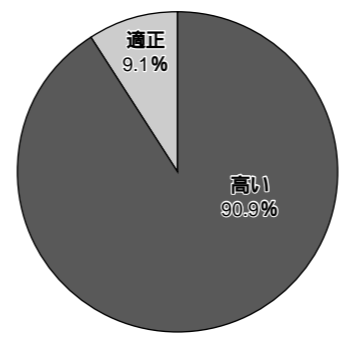
ファンは温泉地の伝統文化、情緒を壊す



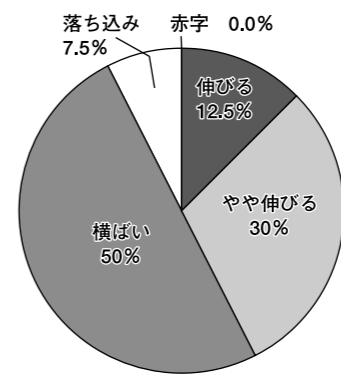
日観連と国観連の合併



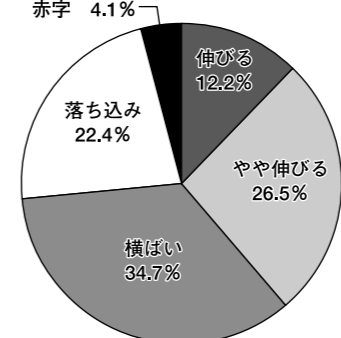
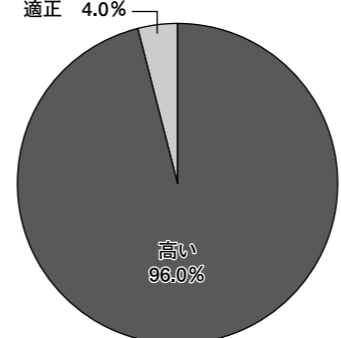
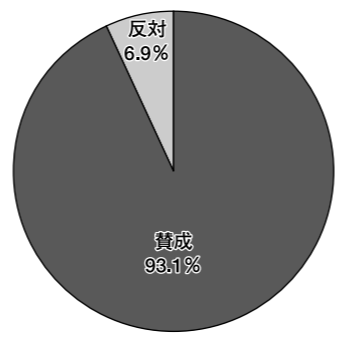
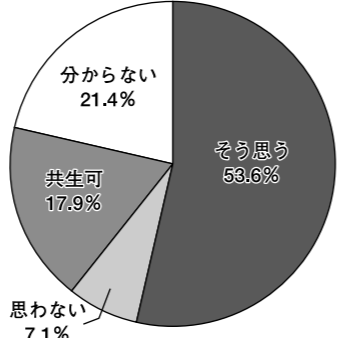
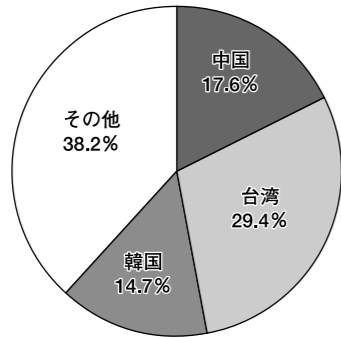
旅行会社の手数料は高いか適正か



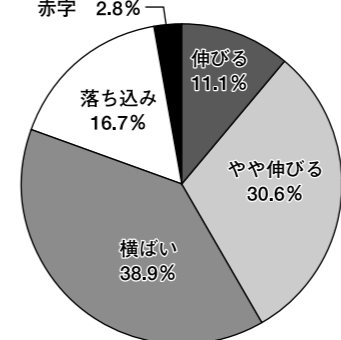
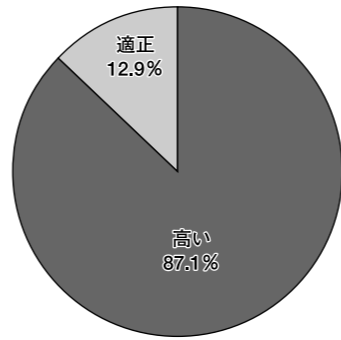
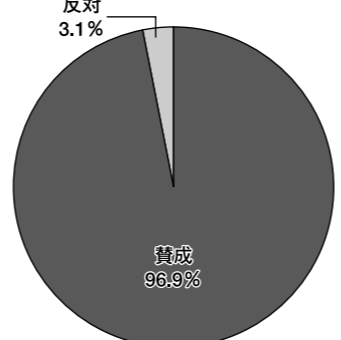
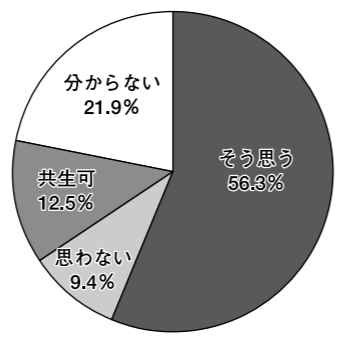
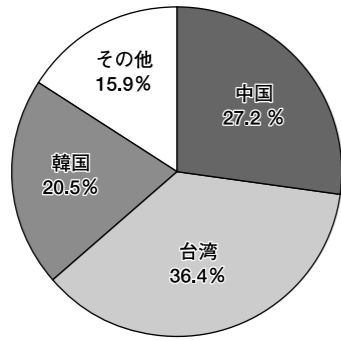
07年度の実績見込み



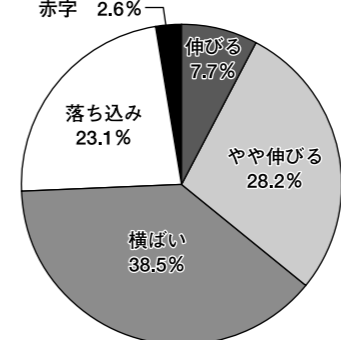
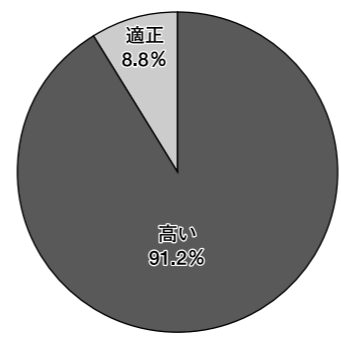
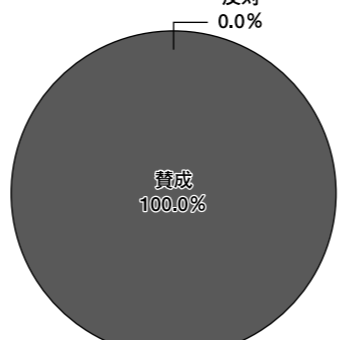
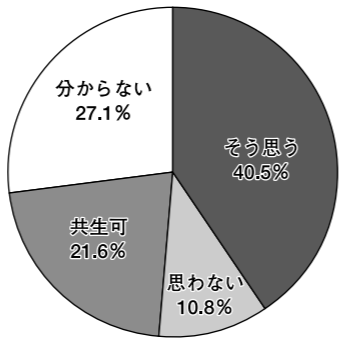
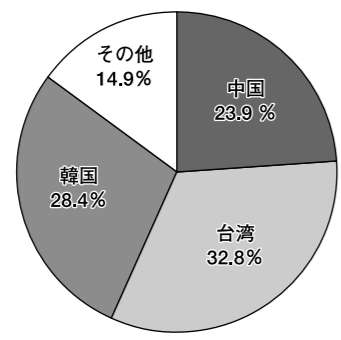
10〜30室



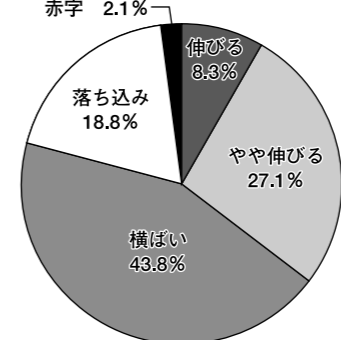
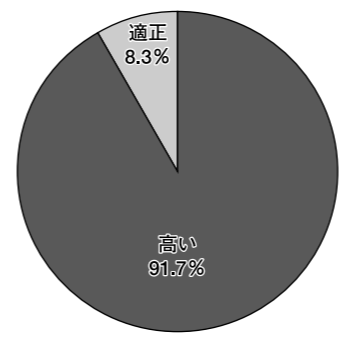
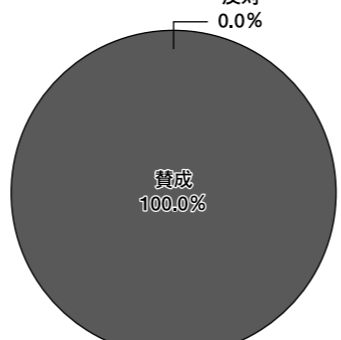
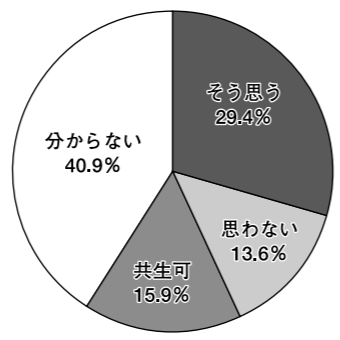
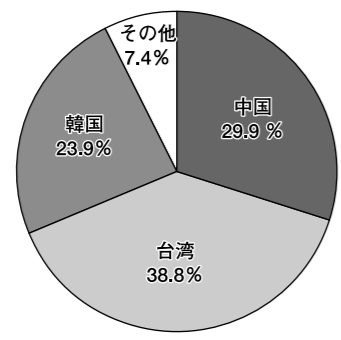
31〜50室



51〜75室



76〜100室



101室以上

本誌が実施した「国観連旅館へのアンケート調査」に関する記事17面。ここでは客室の規模別に①07年の業績見込み②旅行会社の手数料は適正か③日観連と国観連の合併④ファンは温泉地の伝統文化や情緒を壊すと思うか⑤インバウンドはどこから求めるか―の各データを紹介します。

国観連アンケート規模別データ

国観連経営調査